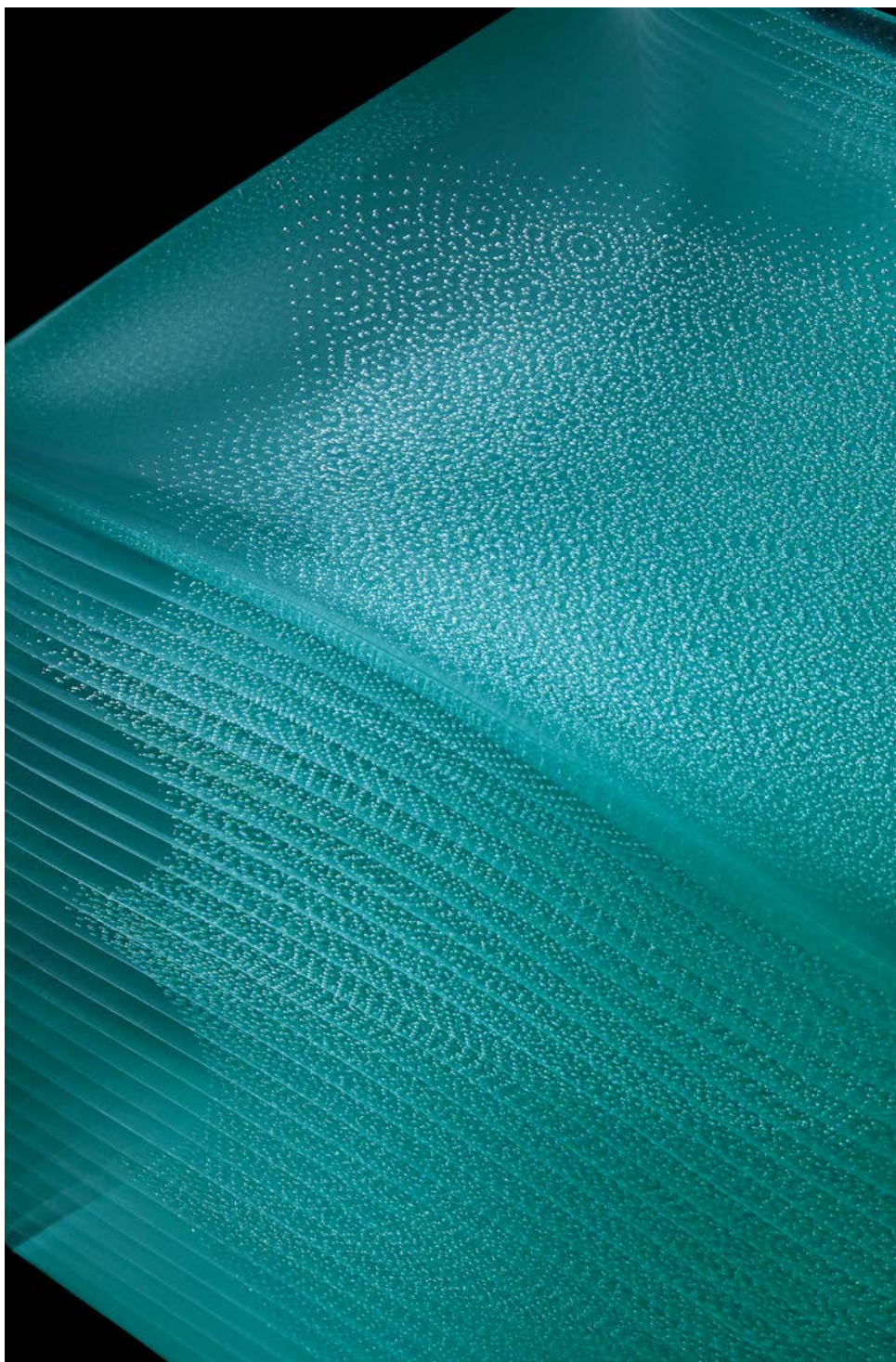


板ガラスの表現

くひろがるかたち、無限の可能性く



「-side(twist)」(部分) 所志帆、2011年、個人蔵 撮影：岡村喜知郎

2017年 4月15日 土 — 7月9日 日

9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

出品作家：アビルショウゴ、家住利男、生田丹代子、小島有香子、所志帆

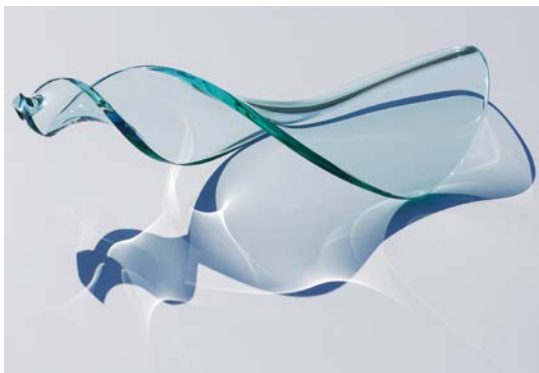
板ガラスの表現

～ひろがるかたち、無限の可能性～

熱によって柔らかく溶けたガラスを平らな板状に成形することで板ガラスは作られます。視線を遮らない透明性と平滑な面を持つ板ガラスは、例えば自動車用窓ガラスや建築資材として使用され、私たちの生活に欠かすことができない製品のひとつとなっています。

板ガラスは、透明で無機質な素材ではありますが、見る角度を変えたり、光を受けたりすることで様々な表情を見せます。作家たちは、視点を動かすことで見えてくる色の深みや、反射によって鏡のように見る者の姿を映し出す、といった多様な変化を見せる板ガラスを、自身が持つイメージを具現する素材としてとらえ、重ね合わせる、削る、磨く、曲げるといった技法を施しながら、独自の造形表現を生み出しています。

本展では、板ガラスを用いて創作活動を行う現代作家5名(アビルショウゴ、家住利男、生田丹代子、小島有香子、所志帆)の作品を展示し、板ガラスによる表現の広がりや造形の魅力をご紹介します。



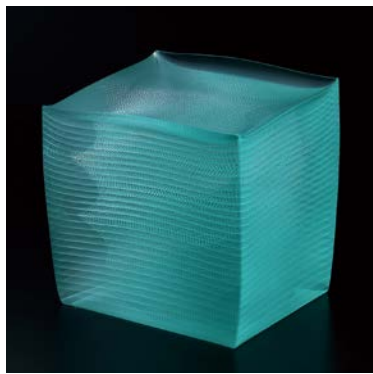
1



3



2



4



5

1. 「旅の始まり」アビルショウゴ、2013年、個人蔵

2. 「Layers of Light -Moon-#6」小島有香子、2010年、石川県能登島ガラス美術館蔵

3. 「空-95」生田丹代子、2016年、個人蔵 撮影：神崎順一

4. 「-side(twist)」所志帆、2011年、個人蔵 撮影：岡村喜知郎

5. 「M.080704」家住利男、2008年、個人蔵

会期中のイベント

スペシャルワークショップ「板ガラスでオブジェ作り」

板ガラスを削って、オリジナルのオブジェを作ります。

■日 時／5月4日(木・祝)、6日(土) ①10:00～、②11:15～、③13:30～、④14:45～

■所要時間／約60分 ■参加費／500円(別途入館料)

■定 員／各回7名先着順(予約不要)

次回展のお知らせ

「BODY/DRESS」

女性にとってもう一つの皮膚とも言える「ドレス」を軸に、自身の内面に向き合い、そこから立ち現れてくる「身体」という普遍的なテーマを、ガラスという工芸的素材・手法を用いて表現する女性作家によるグループ展。

■会 期／2017年7月15日(土)～10月22日(日)

お問い合わせ

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125番地10番地 Tel 0767-84-1175 <http://nanao-af.jp/glass>



交通案内

- ◇電車・バス：JR金沢駅から和倉温泉駅まで特急列車で約1時間。駅前から能登島交通「のとしま臨海公園ゆき」バスで約30分、「美術館前」下車すぐ。
- ◇車：金沢方面から…のと里山海道・徳田大津JCTを經由、能越自動車道・和倉ICから約20分。高山方面から…能越自動車道・氷見ICを經由、七尾ICから約35分。
- ◇飛行機：のと里山空港から「ふるさとタクシー」でガラス美術館前まで約1時間。※ふるさとタクシー：前日15時までに要予約(中島タクシー Tel 0767-66-0114)